

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2016年40週 (10月1週 10/3~10/9)

2016年9月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

今週の内容

トピックス

RSウイルス感染症、流行性角結膜炎、流行性耳下腺炎、手足口病、ヘルパンギーナ、腸チフス、麻しん・風しん
定点医療機関コメント
感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、インフルエンザ、マイコプラズマ感染症、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(27)、腸管出血性大腸菌感染症(3)、腸チフス(4)、レジオネラ症(7)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(2)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性髄膜炎菌感染症(1)、梅毒(2)、麻しん(2)

2016年9月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

RSウイルス感染症(図1)

40週の定点当たり報告数は1.70、39週212人 40週309人(うち0歳119人、1歳117人)で、2歳未満の報告数が全体の76.4%を占めています。

【参考ページ】RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

<注目すべき感染症>RSウイルス感染症(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症疫学センター)

<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2016/idwr2016-38.pdf>

流行性角結膜炎(図2)

40週の定点当たり報告数は1.14、39週32人 40週40人(1.25倍)です。

流行性耳下腺炎(図3)

40週の定点当たり報告数は0.62、39週170人 40週113人(0.66倍)です。

手足口病

40週の定点当たり報告数は0.99、39週140人 40週180人(1.29倍)です。

ヘルパンギーナ

40週の定点当たり報告数は1.01、39週139人 40週184人(1.32倍)です。

腸チフス(P.5,9月報参照)

愛知県の2016年40週までの報告数は10月12日現在11件、2015年総報告数は2件でした。全国の2016年39週までの累積報告数は41件です(2015年総報告数は37件)。

【参考ページ】豊田市:腸チフス患者の発生と保健所連絡窓口の連絡状況について(第2報)(10月11日発表)

<http://www.city.toyota.aichi.jp/pressrelease/1016090/1016214.html>

麻しん・風しん(10月12日現在)(P.5,9月報参照)

愛知県の2016年麻しん報告数は1件増えて3件、2015年は報告がありませんでした。全国の2016年39週までの累積報告数は145件です(2015年総報告数は35件)。

愛知県の2016年風しん報告数は20件(都道府県別累積報告数は全国1位)、2015年総報告数は13件でした。全国の2016年39週までの累積報告数は107件です(2015年総報告数は163件)。

【参考ページ】2016年感染症発生動向調査への麻しん報告例第1~39週(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/images/epi/measles/linelist20161005.pdf>

麻しん及び風しんの定期接種(第2期)対象者に対する積極的な勧奨等について(厚生労働省)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/mashin160901.pdf>

麻しん患者調査事業を実施しています <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>

風しん抗体検査とワクチン接種のお知らせ(愛知県) <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000070318.html>

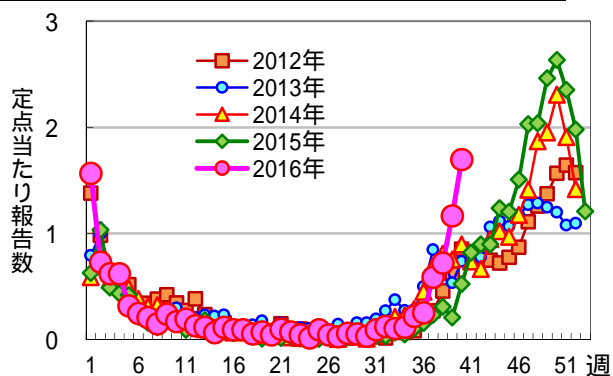


図1 RSウイルス感染症

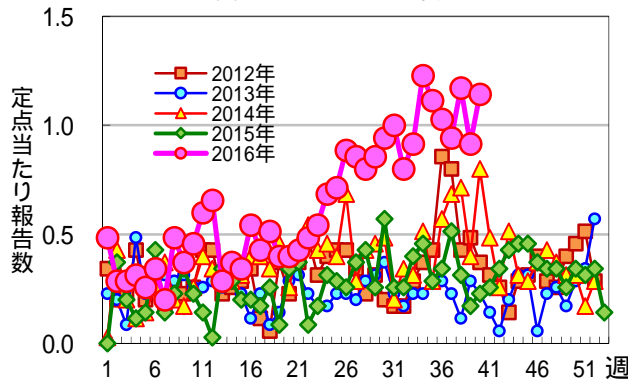


図2 流行性角結膜炎

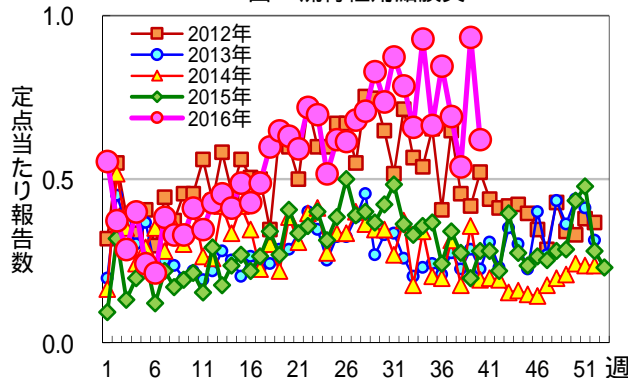


図3 流行性耳下腺炎

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

扶桑町内の工場でインフルエンザの流行があるそうです。

マイコプラズマと肺炎球菌が目立ちます。

【犬山市 武内医院】

ノロウイルス陽性の感染性胃腸炎増加しています。

マイコプラズマ感染症もやや目立ちます。

手足口病 3名

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

ヘルパンギーナが多発しています。

RSV も多くみられます。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

17歳女 15歳女 マイコプラズマ感染症

71歳女 病原大腸菌O1 検出

35歳男 カンピロバクター、病原大腸菌O1 検出

26歳女 カンピロバクター検出

【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

ヘルパンギーナまだ多くみられます。

RS ウイルス感染症 3か月男(比較的軽症で経過)

その他流行性耳下腺炎等

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザA型でした。

【日進市 みやがわクリニック】

RS ウイルス感染が急増しています。乳幼児の感染も増加し、入院も多かったです。

【春日井市 春日井市民病院】

10歳女 マイコプラズマ

仮性クループが急に増えました。

RS、アデノ、胃腸炎、ヘルパンギーナなど色々あります。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

RS 感染も多いようです。

【小牧市 志水こどもクリニック】

感染性胃腸炎がまだ多いです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

1歳女 9か月男 RS ウイルス(+)

11か月女 病原大腸菌O1ベロトキシン(-)

4歳女 マイコプラズマ

【大府市 まえはらこどもクリニック】

サルモネラ腸炎 1名(O4、3歳)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

E. coli(O15)+カンピロ 16歳女

E. coli(O25) 7歳男

RSV(+) 1歳男

アデノ(+) 2歳女

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

11か月男 8か月女 病原性大腸菌O1(+)VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

マイコプラズマ肺炎 9歳男 8歳女 10歳女

アデノ(咽) 11歳男

カンピロバクター 9歳女

サルモネラ 5歳男 4歳女

ヘルパンギーナが小流行

【岡崎市 花田こどもクリニック】

病原大腸菌O25 16歳男

マイコプラズマ肺炎 13歳男 9歳男 5歳男

インフルエンザはA型

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

インフルエンザすべてB すべて同一保育園

【岡崎市 医療法人系洲医院ともキッズクリニック】

マイコプラズマ引き続きみられます。

一部地区で水痘出ています。

【碧南市 永井小児クリニック】

RS 2名

インフルエンザA 3名

サルモネラ腸炎 2名

【知立市 宮谷クリニック】

インフルエンザA 3名

【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】

インフルエンザA型 4名

【西尾市 西尾市民病院】

マイコプラズマ肺炎 8歳女

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

RS ウイルス感染症が増えてきました。

8歳女 インフルエンザA型

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

病原性大腸菌O18 1歳女

【豊川市 ささき小児科】

ヘルペス性歯肉口内炎 1名

カンピロバクター 1名

【蒲郡市 畑川クリニック】

インフルエンザA型 1名

【豊川市 豊川市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2016年10月12日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun160215.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2016年40週報告数			2016年総計(1～40週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	9	1	5	523	132	129
豊田市				55	14	14
豊橋市	5		5	63	11	29
岡崎市				43	17	11
一宮	5	2	1	111	38	23
瀬戸	1		1	93	16	29
半田	1	1		50	14	21
春日井	3		2	90	14	27
豊川	1	1		41	11	8
津島				85	13	35
西尾				19	5	3
江南				39	7	6
新城				8	5	2
知多				62	15	19
清須	1	1		30	15	4
衣浦東部	1			90	16	15
合計	27	6	14	1,402	343	375

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	26歳	男	9/23	9/22	10/1	O157、VT2(+)
2	瀬戸	68歳	女	-/-	9/29	10/1	O157、VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者
3	清須	27歳	男	9/29	9/29	10/3	O157、VT2(+)

腸チフス（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	豊田市	0歳	女	-/-	9/30	10/3	国内
2	豊田市	66歳	女	9/23	9/30	10/4	国内
3	豊田市	23歳	男	9/28	10/2	10/7	国内
4	津島	43歳	男	9/22	9/29	10/6	国内

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	74歳	男	肺炎型	国内
2	名古屋市	49歳	男	肺炎型	国内
3	豊橋市	76歳	男	肺炎型	国内
4	春日井	85歳	男	肺炎型	国内
5	津島	67歳	男	肺炎型	国内
6	西尾	89歳	男	肺炎型	国内
7	知多	64歳	男	ポンティアック熱型	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	豊川	70歳	男	不明	国内	無

クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	津島	86歳	女	古典型

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	77歳	男	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	48歳	男	無症候性キャリア	不明	国内
2	名古屋市	64歳	男	AIDS	性的接触	国内

侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	79歳	男	不明	国内

侵襲性髄膜炎菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	共同生活	推定感染地域
1	瀬戸	48歳	男	無	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	45歳	女	早期顕症	性的接触	国内
2	一宮	40歳	男	早期顕症	性的接触	国内

麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊橋市	2歳	女	無	インドネシア
2	豊川	26歳	男	有	インドネシア

9月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2015～2016年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2016年9月			2016年	2015年
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7) 結核	85 (21)	44 (8)	129 (29)	1,372 (361)	1,683 (463)
三類 (5) コレラ	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	6 (1)	6 (1)
腸管出血性大腸菌感染症	20 (2)	1 (1)	21 (3)	123 (34)	98 (21)
腸チフス	3 (0)	2 (0)	5 (0)	7 (0)	2 (0)
四類 (44) E型肝炎	0	1	1	4	8
A型肝炎	1	0	1	4	10
オウム病	0	1	1	1	0
コクシジオイデス症	0	0	0	0	1
ジカウイルス感染症*	0	0	0	2	-
チクングニア熱	0	0	0	3	0
つつが虫病	0	0	0	0	2
デング熱	3	0	3	18	17
日本紅斑熱	0	0	0	1	0
マラリア	1	0	1	1	2
ライム病	0	0	0	0	1
レジオネラ症	8	2	10	62	99
五類 (22) アメーバ赤痢	4	3	7	53	66
ウイルス性肝炎	0	0	0	4	15
内訳					
B型	0	0	0	3	10
その他	0	0	0	1	5
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	2	3	5	53	79
急性脳炎	0	1	1	34	27
クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	1	10	8
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	2	19	16
後天性免疫不全症候群	4	1	5	72	107
内訳					
無症候性キャリア	2	1	3	46	60
AIDS	2	0	2	24	43
その他	0	0	0	2	4
ジアルジア症	0	0	0	1	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	0	1	18	15
侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1	2	5	0
侵襲性肺炎球菌感染症	4	4	8	107	161
水痘(入院例に限る。)	1	0	1	9	17
梅毒	13	12	25	194	122
内訳					
無症候	3	1	4	51	43
早期顕症	10	11	21	136	71
晚期顕症	0	0	0	7	7
先天梅毒	0	0	0	0	1
播種性クリプトコックス症	1	1	2	9	10
破傷風	0	0	0	4	8
風しん	2	0	2	20	13
麻しん	1	0	1	2	0
薬剤耐性 アシネトバクター感染症	1	0	1	2	0
総計	158	80	238	2,221	2,598

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2016年9月			2016年 累計		2015年 総計		
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体		
					愛知県全体 合計	愛知県全体 合計			
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	36	60	96	674	1,161	855	1,501
		女	34	17	51	487		646	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	12	6	18	180	482	224	601
		女	15	22	37	302		377	
	尖圭コンジローマ	男	4	8	12	150	231	217	328
		女	6	4	10	81		111	
淋菌感染症	男	20	31	51	350	409	489	565	
	女	7	2	9	59		76		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		52	20	72	705		1,006	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		5	1	6	76		92	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0		1	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年4月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症** (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

** 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

